

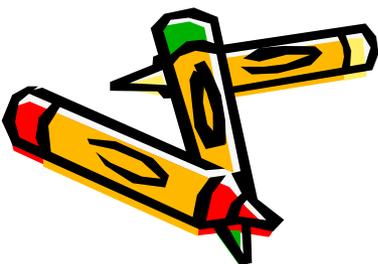
**平成22年度  
滋賀県認知症介護サービス事業開設者研修**

**「認知症の疾患理解」**

**平成23年2月17日（木）**

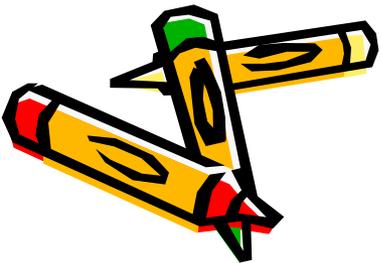
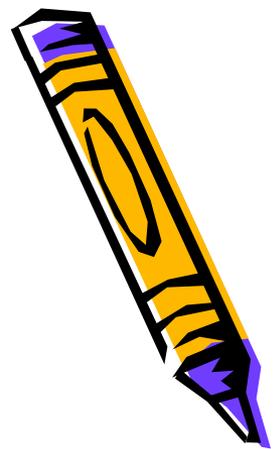
**医療法人 あいち診療会**

**藤村 淳子**

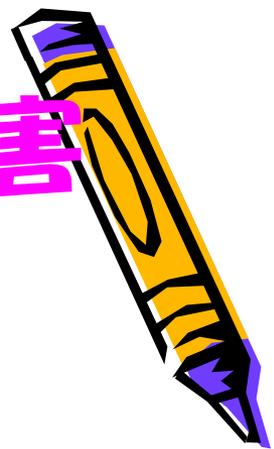


# 認知症の定義

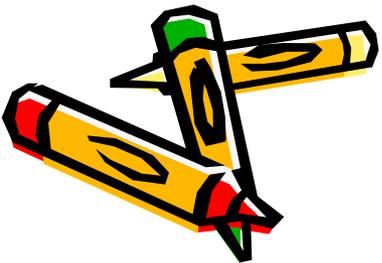
- 1、**記憶（短期・長期）の障害**
- 2、次のうちひとつ以上がみられる  
**失語・失認・失行・実行機能障害**
- 3、1・2の障害により、**仕事・社会活動**  
**・人間関係が損なわれる**
- 4、**意識が清明であること**
- 5、**病歴や検査から脳の器質性変化がある**  
(アメリカ精神医学会の診断統計マニュアルⅣ (DSM-Ⅳ) より)



# 失認・失語・失行・実行機能障害



- ①**失認**：目は見えてるのに、  
それが何かが分からない。
- ②**失語**：名前が出てこない。あれ・それなどの  
曖昧な表現になる。
- ③**失行**：手や足は動くのに、どうするのか、  
どうしたらいいのかわからなくなる。
- ④**実行機能障害**：手順がわからなくなる。



# 認知症の周辺症状

周辺症状ってというのは、以前は  
問題行動って言われていました。

①徘徊、 ②異食、 ③妄想、  
④放尿、 ⑤暴力、 ⑥不潔行為など  
介護している人が困ってしまうことで、ほか  
にもたくさんあります。





**「認知症」** って  
ひとくちに言っても、  
色々な種類があります。



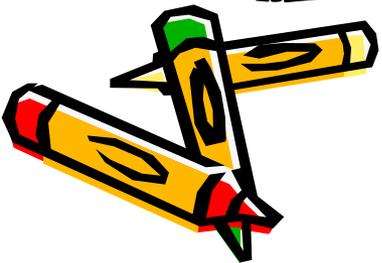
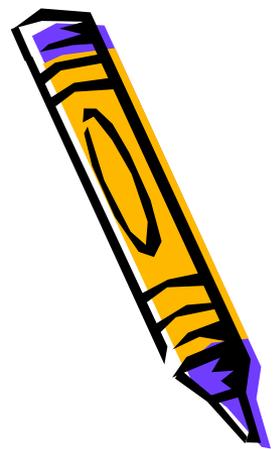
# 認知症の種類

- ・ **アルツハイマー型認知症**
- ・ **レビー小体型認知症**
- ・ **前頭側頭型認知症**

→ **脳の細胞がゆっくり死んでいく  
変性疾患**

- ・ **脳血管性認知症**

→ **脳の細胞に栄養や酸素が行き渡ら  
なくなり脳細胞が死んでしまう。**



# アルツハイマー型認知症の特徴

～最も多い認知症です～

社会性は最後まで発揮されます。場面に合わせた挨拶や簡単な会話はできます。

だから一緒に住んでいない人（親類・隣近所・ヘルパー）は、本人の病気に気づきにくく、家族の大変さをわかってあげられず、結果、家族だけで問題を抱え込んでしまうのです。



# レビー小体型認知症の特徴

～パーキンソン病に近い症状が～

①**日内変動**：一日の中で症状がすごく変わる人が多いです。まるで別人みたいになるので、家族も戸惑います。

②**幻視**：「カーテンの所に人影が…」というようなおぼろげなものではなく、はっきりした幻覚が！



# 前頭側頭型認知症の特徴

～前頭葉は理性を担当する場所！～

私たちは美味しそうなものを見て  
「**食べたい（本能）**」と思っても、  
「**お金払わないと食べたらだめ（理  
性）**」って我慢しますよね。それが  
できなくなっちゃう病気なんです。



# 脳血管性認知症の特徴

～社会適応能力の障害・自己管理能力障害など～

動作や思考が遅くなるため、必要以上に能力が落ちているように見える

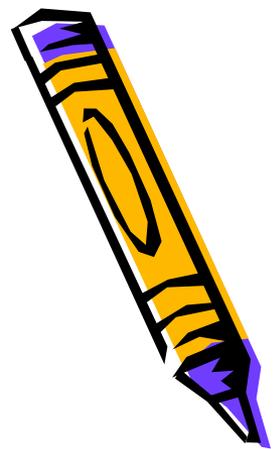
【疲れやすい・動きたくない・興味がわかない】



認知症の悪化に伴い廃用症候群に陥りやすい



# 行動・心理状態 (BPSD)



## 認知症の中核症状と周辺症状

介護に対して抵抗

①抑うつ状態

外出して迷子

②幻覚・妄想

不潔行為

③攻撃的言動・行動

中核症状

記憶障害

実行機能障害

判断力・抽象思考

失語・失行・失認など

⑦不眠

徘徊

⑥せん妄

異色

④多動・興奮

⑤誤認・不安

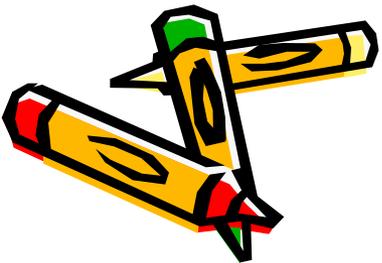
異常行動としては  
攻撃、興奮、徘徊、  
不潔行為など

心理症状としては  
幻覚、妄想、誤認、  
不眠など



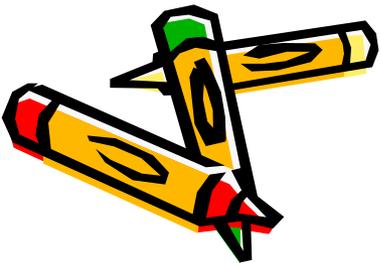
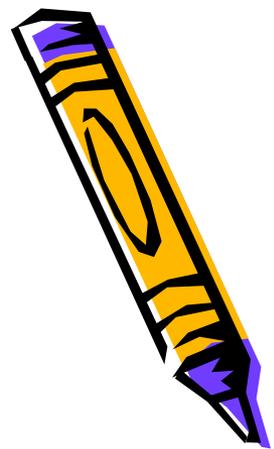
# 認知症の方の残存能力とは？

- 子どもの頃の記憶【長期記憶】
- 手や身体で覚えたこと【手続き記憶】
- 喜怒哀楽【感情機能】



# 認知症の方の心の苦痛

- 不安、困惑、驚き、ストレス
- わかってもらえない、一方通行のコミュニケーションとなり、人間関係が悪化
- 何かやらなければ、～したいと思っても、何もできなくなると誤解される
- 人に助けてほしい、傍にいてほしい
- 安心できる居場所、拠り所がない
- 心を閉ざして無気力になる



# 作業療法的手段（治療構造）

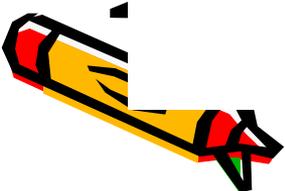
- 1、「活動」:なじみの仕事、習慣
- 2、「集団」:なじみの関係、相互交流
- 3、「治療者自身」:治療的自己の活用  
(therapeutic use of self)

★ポイント(聞くこと・知ろうとすることが大切)

自分の気持ちを整理できる

考える機会を持てる

自分自身が変わることによってその人が変わる



# 若年性認知症の特徴とは

原因疾患が多彩である→疾患の理解

他の精神疾患と間違われやすい→診断の重要性

特徴的な症状が出現する疾患がある→疾患別ケア

失語、失行、失認などの症状の出現が早いことがある  
→生活障害への支援

進行が早いことがある→患者と家族への心理的支援

抑うつ状態になりやすい→患者と家族への心理的支援

易怒性が高いことがある→患者と家族への心理的疾患

(「認知症の医療とケア 2008年」より)

